



2015年ホベツアラキリュウ発見40周年 - ホッピーがもたらしたものの③ -

1903年～1975年（73年間）
（大学や国立科博による調査）

穂別地域産資料数

モササウルス類 1

ウミガメ 1

（発見当時は分類不明とされたもの）

1982年
1977年
1975年
1975年
ホベツアラキリュウ発見
1982年
1977年
1975年
町立博物館（穂別博物館）設立

1975年以降（40年間）の
穂別町立博物館・穂別博物館の調査

穂別博物館資料

[ほとんどが穂別地域産]

後期白亜紀

国内全資料

首長竜 9 (35)

モササウルス類 11 (37)

ウミガメ 42 (65)

陸生カメ 1 (8)

恐竜 1 (19)

穂別地域産、穂別博物館収蔵脊椎動物資料数の変遷と後期白亜紀の国内資料*

1982年に穂別町立博物館が設立されてからも、町内や北海道内の協力者と学芸員らによる調査・研究によって重要な化石資料が収集されてきました。なかには、新種とされたモササウルス・ホベツエンシス（1982年採集、1985年に新種として発表）、新種モササウルス・プリズマティクス（1995年採集、1999年に新種として発表）や、モササウルスの頭骨の大部分が保存されているモササウルス穂別博物館第10標本（2009年採集、研究中）、全身の約5割；国内標本のなかで最も骨格が保存されている首の短い首長竜；ポリコティルス^{シダハラ}鳴原標本（1993年採集・発掘、研究中）、2013年と2014年の2ヵ年にわたる大規模な発掘を行ったハドロサウルス科恐竜（最初の標本は2003年に採集、研究中）などの重要な資料が発見・収集されてきました。

こうした活動の結果、特に首長竜、モササウルス類、ウミガメといった海生爬虫類資料がたくさん収集されました。それらは、後期白亜紀（約9,900万～6,600万年前）のものに限定すると、日本産標本の内、それぞれ約2.5割、3割、6割を占める国内屈指のコレクションになりました。後期白亜紀の北西太平洋地域において、日本以外からはほとんど海生爬虫類化石は産していませんので、これらコレクションは、後期白亜紀における北西太平洋の動物相を理解する上で極めて重要な資料です。

学芸員 西村智弘



モササウルス
・ホベツエンシス（ヒレ）



モササウルス
・プリズマティクス



モササウルス穂別博物館
第10標本



↑ハドロサウルス科恐竜
（2003年に発見された
尾椎骨）

←首長竜
ポリコティルス鳴原標本

*小島郁夫・長谷川善和・大塚裕之, 1972(年). 北海道の白亜系爬虫類化石, 国立科学博物館専報, 第5号, p. 213-222; Sato, T., Konishi, T., Hirayama, R. and Caldwell, M.W., 2012. A review of the Upper Cretaceous marine reptiles from Japan. Cretaceous Research, vol. 37, p. 319-340; 平山廉, 2006. 日本産化石カメ類の概要, 化石, 第80号, p. 47-59; 富田幸光, 2011. 日本の恐竜: 30年にわたる発見・発掘と研究の進展, milsil, 第4巻 第4号, p. 6-10; ホッピーだより公表済み資料を基に作成。

化石採集会 参加者募集



昨年の化石採集会の様子

実施日	申し込み期限
7/4 (土)	6/20 (土)
7/11 (土)	6/27 (土)
8/22 (土)	8/8 (土)
8/29 (土)	8/15 (土)

雨天・増水などの場合は化石クリーニング体験に変更

白亜紀中ごろ（約 9,000 万～8,000 万年前）の化石がとれる場所に行きます。

採れるかもしれない化石：アンモナイト、二枚貝（イノセラムスなど）、ウミユリ、単体サンゴ、植物化石、サメの歯など。（希少な化石が採集された場合は、博物館に寄贈していただきます。）

申し込み方法 官製往復はがき

申し込み内容 ①参加希望者全員（参加希望する保護者も含む）の氏名、年齢（学年も）、②参加希望日〔4回の中で、希望する回（1回のみ）〕、③住所、④電話番号 以上の内容をご記入のうえ穂別博物館まで郵送してください。お手数ですが、返信用はがきに返信用の宛名を予めご記入ください。

申し込み期限 各回開催の2週間前必着

時間 9:30～12:00（集合・解散 穂別博物館）（12:00～13:00 希望者は採集した化石のクリーニング）

料金 体験料金 100 円と博物館観覧料

対象 小学生 4 年生以上（小学生は保護者同伴）

服装・持ち物 長袖・長ズボン・帽子・軍手あるいはゴム手袋・靴（博物館見学用）・濡れてもいい靴あるいは長靴（水深 20 cm ぐらいの場所を歩きます。サンダル等は不可）・リュックサック・古新聞（化石梱包用）ハンマー等は博物館で用意します。

注意 ハンマーの使い方などはスタッフの指示に従ってください。服装に関する注意を守ってください。

定員 20 名（応募多数の場合は抽選）

申し込み先 〒054-0211 勇払郡むかわ町穂別 80-6 むかわ町立穂別博物館

最近の主な寄贈資料の紹介



化石資料（雌型）



雌型から作ったレプリカ

10 cm

ホッピーだより No. 355 で紹介したものと同様のスフェノセラムス・シュミッティ (*Sphenoceras schmidtii*)（イノセラムス科二枚貝）が三宅優佳さん（熊本大学）の調査で 2014 年 6 月に採集され、博物館に寄贈されました。

寄贈されたものは雌型（化石の型にあたるほう）の標本ですが、右殻（うかく）全体が保存されているもので、スフェノセラムス・シュミッティの全体の形が理解できるもので、穂別産としては 2 個体目の完全な標本になります。 学芸員 西村智弘

むかわ町立穂別博物館



開館時間 9:30～17:00（最終入館 16:30）

観覧料 個人 / 小～高校生：100 円

大人 300 円

団体 / 小～高校生：50 円

大人 200 円

※団体は 10 人以上 ※小学生未満は無料

6 月 2015 年

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7 月 2015 年

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■ 休館日 ○ 町民無料観覧日